



国土交通省



大分市

発表先 県政記者室
大分市政記者クラブ

令和3年3月25日
九州地方整備局大分河川国道事務所
大分市都市計画部

～みんなの熱い思いや夢をプランに～
『大分川下流域かわまちづくり第一回推進部会』を開催します。

国土交通省大分河川国道事務所が進める**かわ**づくりと大分市が進める**まち**づくりが融合した「大分川下流域かわまちづくり」を推進するため、検討委員会を令和2年9月25日に設置しています。（委員長：大分高専亀野辰三名誉教授）
検討委員会の実践組織として、「大分川下流域かわまちづくり推進部会」（仮称）を開催します。
今後の具体的な計画策定、取組内容の検討を行うため、下記のとおり開催しますので、案内します。

記

1. 日時 令和3年3月30日（火） 15時～17時（予定）
2. 場所 大分市顕徳町3丁目大分市文化財資料室（大友氏館跡、南蛮 BVNGO 交流館横）
3. 出席予定者
大分市観光協会、大分県カヌー協会、大分県セーリング連盟、大分舞鶴高校、大分走ろう会、大分市ウォーキング協会、NPO 法人アシスト・パル・オオイタ、ボーイスカウト大分県連盟、大分川漁業協同組合、金池まちづくり推進協議会、国土交通省大分河川国道事務所、大分県、大分市
4. 議事次第
別紙-1のとおり
5. 取材について
報道機関のみの公開となります。
6. その他
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱など体調不良の場合、取材はご遠慮願います。また、マスク着用をお願いします。
 - ・豪雨、大規模地震などにより防災体制等に入った場合は中止することがあります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所
調査第一課長 小野 富生 電話 097-546-1474（ダイヤルイン）

大分市 都市計画部
まちなみ企画課長 武安 高志 電話 097-585-6004（ダイヤルイン）

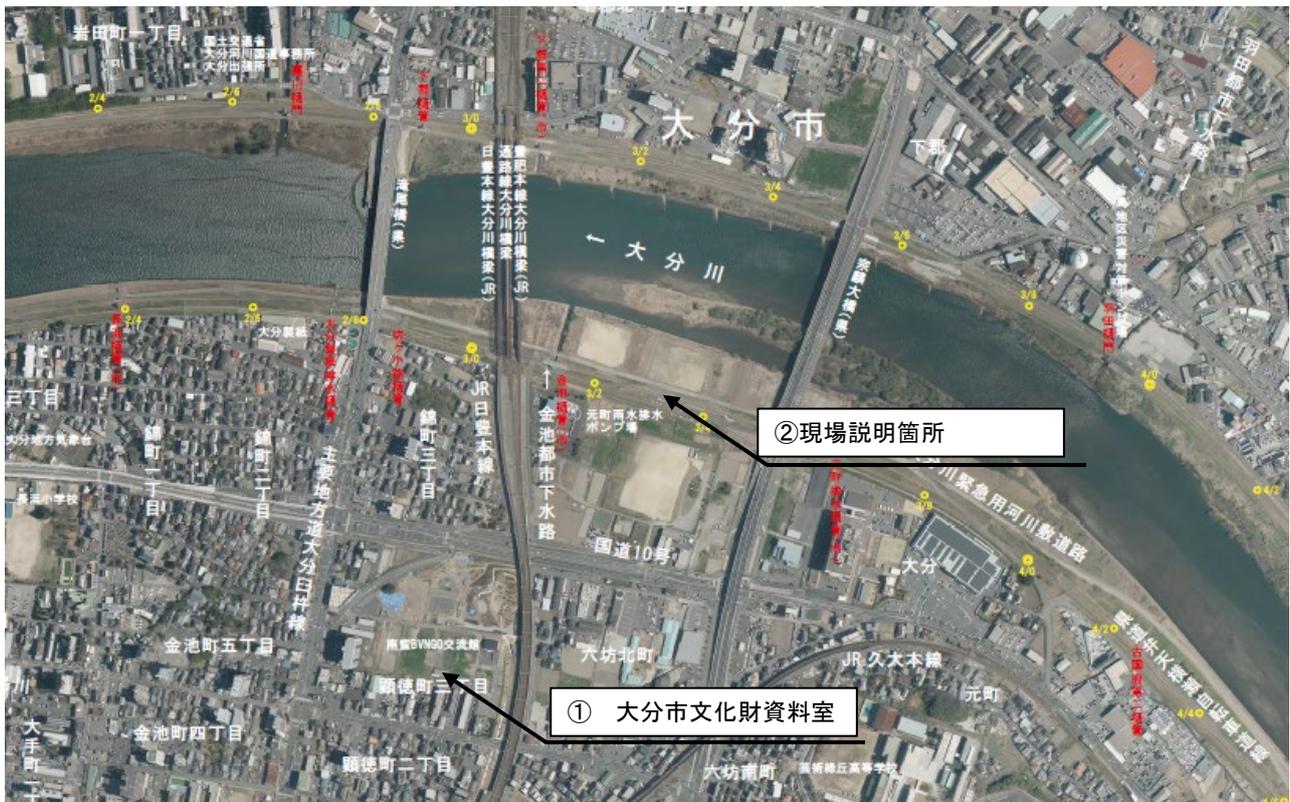
大分川下流域かわまちづくり 第1回推進部会 議事次第

日時：令和3年3月30日（火）15:00～17:00

場所：大分市文化財資料室（大友氏館跡、南蛮 BVNGO 交流館横）

1. あいさつ
2. 出席者紹介
3. 議事
 - (1) かわまちづくりの概要
 - (2) かわまちづくりの登録に向けて
 - (3) 大分川下流域かわまちづくり
 - (4) 本日の検討事項
 - (5) 今後の予定
4. 現地踏査

推進部会メンバーは、マイクロバス等にて大分川沿川へ移動



① 大分市文化財資料室

② 現地踏査説明箇所（②六坊北町～③上流～④下流）

■かわまちづくりとは

“かわづくり”と“まちづくり”が一体となった 良好な水辺空間の形成

使いきれていない地域資源(魅力)

⇒歴史・文化・景色・水辺
・高水敷・堤防敷 など

連携

既存の事業・イベント

⇒まちづくり、健康づくり など

地域住民(市民・団体)の
新しい発想

川を日常的に楽しめる『場』に変化させ、交流の拠点に
そして、魅力的な『まち』へ

近隣の事例: 那珂川かわまちづくり(福岡市)



那珂川河畔オープンカフェ



リバーフロントプレイス



ウォーキング大会



カヌー体験

■かわまちづくり支援制度

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和3年3月時点:238地区登録)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)

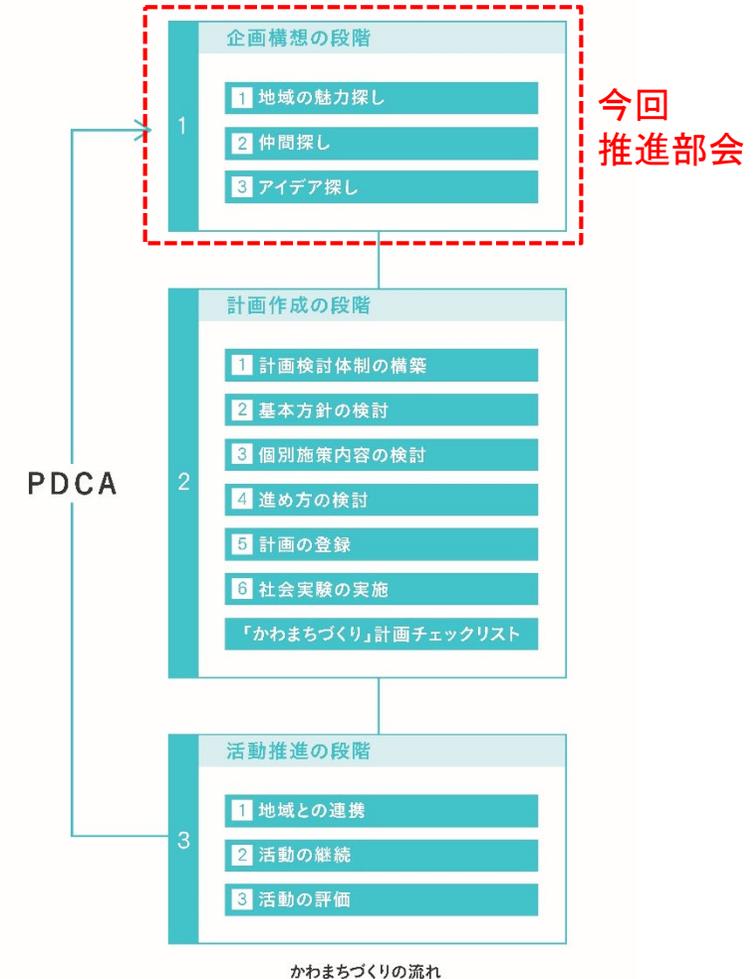
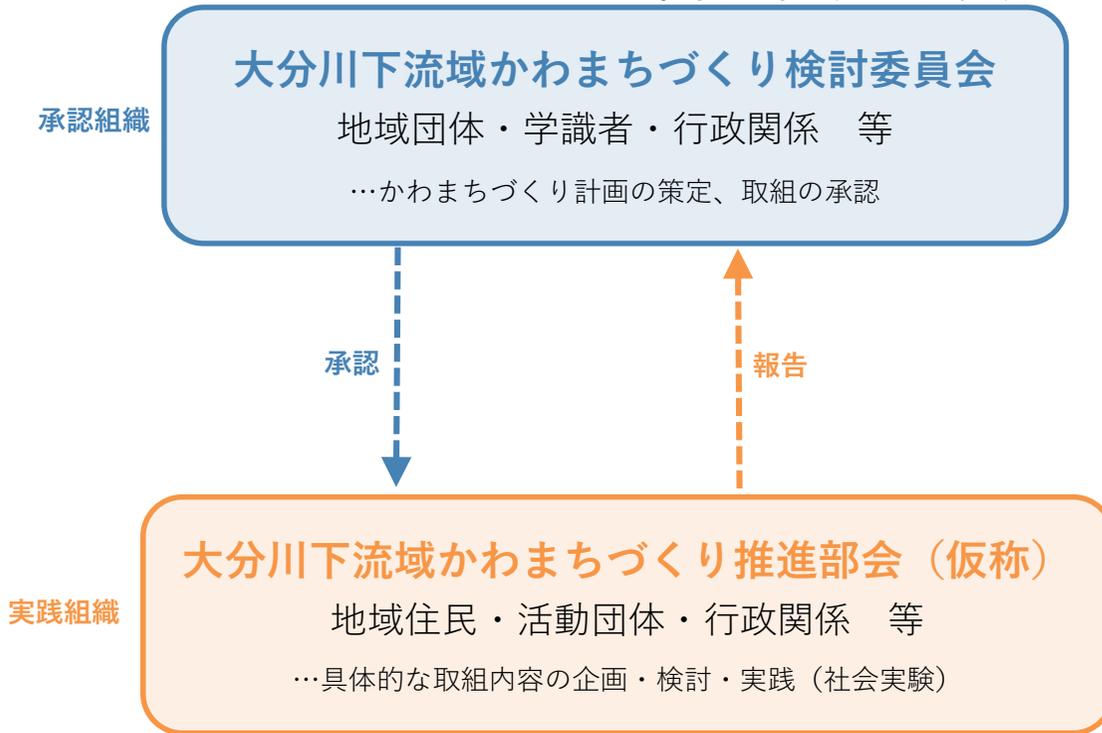


親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

■ 推進体制(案)

- ・「検討委員会」は、承認組織として、推進部会で検討された取り組み等を取りまとめ、かわまちづくり計画を策定する。
- ・「推進部会」は、実践組織として、利活用・維持管理の具体的な企画・検討・試行を通じ、実践的な取り組みを進める。

令和2年9月25日発足



かわまちづくりの流れ

大分川下流域かわまちづくり

全体コンセプト案

大分川の歴史や自然を活かし、都市の中で水と緑に親しめる空間づくり

- ・「旧万寿寺地区」を中心拠点として位置付け、遺跡整備計画と連携したかわとまちの賑わいづくりに取り組む。
- ・すでに散策やカヌー等で人が集まる「弁天大橋～舞鶴橋区間」については、既存施設を最大限活かし利便性を向上させることで、さらなる賑わいづくりを目指す。



「弁天大橋～舞鶴橋区間」テーマ案：
花がつなぐ人々の交流と健やか体づくりエリア
(すでにある利用や既存施設を活かした利便性向上)

「旧万寿寺地区」テーマ案：
大友宗麟の偉功に触れ水辺に憩うエリア
(中心拠点として歴史まちづくりと連携した水辺の整備と賑わいづくり)

大友氏遺跡の歴史まちづくり

：かわまちづくり計画の範囲